

■ 助成団体一覧

| 団体名 | 所在地 | 助成額 (万円) | 助成金使途 |
|-------------------------------|------|-------------|--|
| 特定非営利活動法人 まちづくり学校 | 新潟市 | 100.0 | これまでに培ってきた様々なまちあるき手法を、広く地域・社会に浸透・普及させ、地域ならではの個性が光るまちづくりの普及と、そのまちづくりをリードする人材育成を行うことを目的に、1. 県内12カ所で、町歩きを行い、地域資源の発掘方法やファンリテーション技術を学ぶプログラムを開催。2. 「まちあるきスタイルブック」を編集・出版し、広く全国に向けてそのノウハウを普及させていくための冊子を作成する。 |
| 特定非営利活動法人 エス・ネット | 佐渡市 | 100.0 | 離島佐渡市における人口減少、少子高齢化、過疎化、若者の島外流出等により空き家が急増している。空き家対策に直接的、継続的に関わることのできる人材の育成と組織の立ち上げ、継続的な運営形態を確立することで定住者(移住者)の誘引、空き家解消、賑わいの創出をする。 |
| 新潟ワイルドライフリサーチ | 長岡市 | 89.0 | ツキノワグマのGPS行動調査、出没を予測する上で大切な堅果類の豊凶調査を実施する。VHFトランスミッターを利用したイノシシの行動調査の実施する。鳥獣被害対策指導者研修会を実施し、行政担当者、鳥獣被害対策を実施する地域リーダーの教育普及啓発に努める。 |
| ひゃくいちねん会 | 柏崎市 | 84.0 | 少子高齢化、過疎化が進む柏崎市小清水集落に新しい交流の拠点としてコミュニティカフェを整備する。空き家の電気・水道工事、飲食店として必要になる調理器具や什器、設備などを整える。 |
| 特定非営利活動法人 野外教育学修センター魚沼伝習館 | 魚沼市 | 82.6 | 少子高齢化、過疎化による過疎集落再生のため、人材育成の一環として地域資源である農林業の実施研修、地域資源の商品化、販売スキルも養い持続的取り引きが可能な顧客開拓等の研修も行いながら、収入源確保と雇用機会の創出、体験教育を通して担い手・後継者の育成と確保を目的とする。 |
| フードバンクにいがた設立準備会 | 新潟市 | 82.5 | 新潟県内における食のセーフティーネットを支えるフードバンクシステムを構築し、市民・企業・行政等と協同で、誰もが食を分かち合える、心豊かな社会づくりを目指すために設立を目指す。 |
| 特定非営利活動法 ボランティア亀田 | 新潟市 | 75.0 | 「がっつこむかめだ」に集う高齢者、地域団体、生きづらさを抱えた若者たちが得意分野をいかしたプロジェクトを企画・実施することにより、生きがいがづくり、就労、雇用機会の創出につながる。そのための、ドジョウ、カブトムシの採取から出荷、まちあるきガイド、講座の実施、アート作成展示、ワークショップ開催、被災地交流を行う。 |
| 特定非営利活動法人 にいがた・オーティズム | 新潟市 | 57.0 | 県外から障がい者雇用の先進的取り組みをしている講師を迎え、基調講演とともに県内の教育、医療関係者とのパネルディスカッションを行い、新潟県の就労支援にかかわる教師、福祉職員の質の向上と企業関係者の障がい者雇用における不安解消のために講座形式のシンポジウムを開催する。 |
| 生物多様性保全ネットワーク新潟 | 新潟市 | 41.9 | 「フィールドガイド 佐渡島の淡水魚介類」を出版。このガイドブックでは、佐渡島の河川、湖沼で見られる魚類に加え、主なエビ、カニ、貝類の解説を行う。刊行したガイドブックは、佐渡市内全学校(約50校)や役所出先機関などに寄贈するとともに、島内外の希望者に配布したいと考えている。 |
| 特定非営利活動法人 支援センターあんしん | 十日町市 | 40.0 | 十日町市の基幹産業である「キノコ栽培」から排出される廃菌床をペレット燃料に製造するための移動式ペレットプラントを整備し、燃料の販売を目指すための倉庫を改修、修理、電気設備の整備を行う。 |
| 特定非営利活動法人 大杉の里 | 上越市 | 40.0 | 障がい者自立訓練(生活訓練)事業の訓練内容として、ハーブ園芸活動を生活訓練のカリキュラムに加え、無理のない軽作業で体と心をリフレッシュしつつ体力の回復や社会性の回復、維持、育成を目的に、ハーブ園芸、ハーブ育成を行う。 |
| 特定非営利活動法人 溪流再生フォーラム | 新潟市 | 30.0 | 福島避難者の親子を吉平ヶ平キャンプ場に招待し、溪流釣りや川遊び・自然体験、新潟の親子との交流など、子どもに会いに来るお父さん、家族で自然を楽しんでもらう。また、自然との遊びを通じて、水質・景観・生物の多様性など、溪流の事前や環境にも関心を持ってもらいたい。 |
| 特定非営利活動法人 自立生活センター新発田 | 新発田市 | 26.0 | 昨年「就労継続支援B型事業所」を開設、主力製品として織機7台を使ってマフラー・小物製品を製作販売している。工業用ミシンを整備し、製品の品質と製品のバリエーションを増やすことで、売り上げを増やして工賃の増加をはかる。 |
| りてらこや新潟 | 新潟市 | 23.6 | 外国人集住地のない新潟県内において、外国ルーツの子ども・若者のネットワーク作りの一助とすること、また実態の把握と適切な支援が可能となるよう情報を集めるために、新潟県在住の外国ルーツの子ども・若者のための交流スペースを創造する。 |
| 特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネット・にいがた | 長岡市 | 18.4 | 予防教育トレーナーから、オーストラリアの揺さぶられ症候群予防プロジェクトが作成したDVD、ガイドライン(日本語版)を使用している講座を実施する。揺さぶられ症候群についてしっかりと学び、ファンリテーターとして妊婦、若者、子育て中の親等に伝えていくことで、児童虐待の死亡事例の減少につながることを期待できる。 |
| 特定非営利活動法人 希望の会福祉会 | 長岡市 | 14.4 | 「地域活動支援センターのぞみの家」において作業する空間とは別に、利用者の休憩室に、エアコン購入をする。 |
| 合計(16団体) | | 904.4 | |